

---

# 冬～別れの季節～

星塚夜光

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

冬〜別れの季節〜

### 【Nコード】

N7327J

### 【作者名】

星塚夜光

### 【あらすじ】

私、桜麗高等学校二年、冬咲華乃は妄想大好き妄想少女 笑

でもあるとき、本物の運命の恋をした

別れの季節であるはずの冬から始まる

切ないラブストーリー

f a d e 1

遙かなる

別れの季節に　私は出会った

相手の名前も分からない　それが　恋　という物なのかは分からないけれど

それが運命だったのは事実なのだろう

f a d e 1

遙かなる

「華乃、最近ボーっとしてない？大丈夫なわけ？ココ」

友人の桜井美鈴の声に気付き、私、冬咲華乃は自分の世界への帰還を余儀なくされた

「ココって？」机につっぱしていた重い頭を上げて私は自分の席の隣に立っている美鈴を見上げた

「ココよ、ココ」そういつて美鈴は私の額を指ではじいた

「あだっ！」私は頭の痛みには耐え切れず、涙目になりつつも額をおさえて美鈴をにらみつけた

「自分の妄想の世界に浸ってにやにやしてるからよ、高二女子が妄想恋愛してどうするのっ！」

そう、美鈴の言うとおり私も美鈴も桜麗高等学校第二学年である。  
が、しかし！

どうして高二女子が妄想恋愛をしてはいけないのかっ！？

そこが私には不思議で仕方ないのである

こおんなに楽しいものなのに、みんながはまらない方が私には不思議でならないのだ！

「何よ、その何か言いたげな目は！」美鈴はプウツと頬を膨らませて言った

「何かって！今私が考えたのは妄想じゃなくて現実のことよっ！」  
これは事実だ。

断じて事実だ。断固事実だ。完璧な事実だ。

「ああ、またあの夢の王子様 仮の話？聞き飽きました」美鈴はここで大きなため息をつく

「なによそれっ！しかも 仮！？断固現実ですっ！それになによっハアツって！そんなにため息つくことないでしょッ！？」ハアツ！と私の息はすでにあがりそうになっている

「ホントに飽きないわねえ、二人とも。私は毎日おんなじ会話ばかりで疲れたわ」そういつて現れたのは、クラスメイトの岡崎薫。真正銘高二なのだが、私にはこの人が同学年だなんて絶対に信じら

れたものじゃない

だって成績優秀、容姿端麗、清廉潔白以外のどの言葉もあてはまらないようなこんな人、絶対人間じゃないっ！

私はそう思っただけ、彼女を「岡崎女史」と呼び、常に彼女の頭やお尻に触覚や尻尾が生えていないか、観察をしているのだ

「華乃さんの夢の王子様 仮 はいっ聞いても感動的よね」

むうっ！？おのれも 仮 をつけるのかあっ！？

私の中でしばし葛藤。

「薫もそう思うでしょ？？私も！絶対無いわよね？あんな夢みたいな話」

美鈴は岡崎女史を薫と呼び捨てにする。恐るべし。

「岡崎女史…毎日聞いてたの？」

「聞いてたというか…聞こえてたって言うのが正しいんじゃないかな？だってクラス全員に聞こえるくらいの声であなた達が叫んでるんだもの」

さらば、私の大好きな静かな生活…と私は、静かに別れを告げた

「ってことは、夢の王子様 仮 のことはうちのクラス全員が知ってるってことになるわよね？」

まじですか！？神さまっ！私、恥ずかしくてもう学校にこられませ  
ん~~~~！！！！

「そうね、みんな噂していたし」

これでお分かりいただけたと思う。私がいかなる学校生活を  
送っているかを

しかし、絶対に夢の王子様に 仮 をつけられるのだけは許  
せないっ！！！！

その理由も含めて、次回語るとしよう

…

続く

f a d e 1

遙かなる(後書き)

ハジメマシテの方も多いと思います、星塚です

きになるな、と読んでくださる方は、続きも読んでくださると嬉しいです、ハイ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7327j/>

---

冬～別れの季節～

2010年10月10日01時33分発行